

「地域に飛び出す公務員を応援する首長連合」の概要

<http://tobidasu-rengo.com/wp/>

【設立趣旨】

公務員が自分の時間を活用して、一国民、一地域住民として、職場や家庭における役割に加え、プラスワンとして、社会貢献活動、地域づくり活動、自治会、PTA、消防団、NPO 法人などの活動に参画することは、国民、地域住民と意思を共有し、ひいては現場の国民目線、住民目線で行政を推進することにつながる。

このことは、公務員のミッションを再確認し、行政のあり方を国民本位、住民本位に変えていくためにきわめて有効であり、新しい公共や住民協働といった行政と国民、住民の間の新たなパートナーシップを構築していくための政策を進めていく上でも重要なことである。

よって、ここに我々は意を同じくする仲間として、地域に飛び出す公務員の活動を応援していくための首長連合を結成し、それぞれの立場で次のような施策を積極的に講じていくことを宣言する。

地域に飛び出す公務員の活動を応援するため、

- 1 首長自らが先頭に立って運動を展開する
- 2 組織全体で応援できるような方策を講じる
- 3 その他、あらゆる方策を検討し、実施する

【設立年月日】 平成 23 年（2011 年）3 月 17 日

【参加首長】(敬称略・順不同) 61 名（2019 年 11 月 9 日現在）代表:鈴木英敬（三重県知事）

北海道 片山 健也（ニセコ町長） / 山本 進（東神楽町長） / 蝦名 大也（釧路市長）
山形県 白岩 孝夫（南陽市長） / 佐藤 孝弘（山形市長）
茨城県 今泉 文彦（石岡市長）
栃木県 大川 秀子（栃木市長）
群馬県 黒澤 八郎（上野村長）
埼玉県 清水 勇人（さいたま市長） / 久喜 邦康（秩父市長）
千葉県 佐渡 齊（四街道市長） / 松下 浩明（山武市長） / 太田 洋（いすみ市長）
小坂 泰久（酒々井町長） / 岡田 正市（栄町長）
東京都 藤野 勝（武蔵村山市長）
新潟県 國定 勇人（三条市長）
富山県 高橋 正樹（高岡市長）
山梨県 渡辺 英子（北杜市長）
長野県 阿部 守一（長野県知事） / 牛越 徹（大町市長） / 清水 秀樹（売木村長）
岐阜県 尾関 健治（関市長） / 都竹 淳也（飛騨市長） / 柴橋 正直（岐阜市長）
松原 秀安（岐南町長） / 井戸 敬二（七宗町長）
愛知県 吉岡 初浩（高浜市長） / 久保田 桂朗（岩倉市長） / 岡村 秀人（大府市長）
三重県 鈴木 英敬（三重県知事） / 岡本 栄（伊賀市長）
滋賀県 三日月 大造（滋賀県知事） / 野村 昌弘（栗東市長） / 谷畑 英吾（湖南市長）
大阪府 吉村 善美（富田林市長）
兵庫県 谷口 芳紀（相生市長） / 片山 象三（西脇市長） / 多次 勝昭（朝来市長）
福元 晶三（宍粟市長）
奈良県 仲川 げん（奈良市長） / 小紫 雅史（生駒市長）
和歌山県 田岡 実千年（新宮市長）
鳥取県 平井 伸治（鳥取県知事） / 石田 耕太郎（倉吉市長） / 伊木 隆司（米子市長）
島根県 速水 雄一（雲南市長）
岡山県 太田 昇（真庭市長）
広島県 入江 嘉則（神石高原町長）
香川県 大西 秀人（高松市長）
愛媛県 管家 一夫（西予市長）
高知県 板原 啓文（土佐市長） / 楠瀬 耕作（須崎市長）
佐賀県 小松 政（武雄市長） / 江里口 秀次（小城市長） / 村上 大祐（嬉野市長）
長崎県 中村 法道（長崎県知事） / 田上 富久（長崎市長） / 江上 悦生（新上五島町長）
熊本県 荒木 義行（合志市長）
宮崎県 半渡 英俊（木城町長）

【これまでの活動経過】

1. ホームページ、Facebook による情報発信

●ホームページ <http://tobidasu-rengo.com/wp/>

●Facebook <https://ja-jp.facebook.com/tobidasurengo/>

2011年3月10日に首長連合ブログを開設し、連合参加首長のメッセージ、行事の案内等を順次掲載し、情報発信を続けている。⇒ 2018年6月にサイトリニューアル

また、2017年6月にFacebookに首長連合ページを開設し、更なる情報発信に取り組んでいる。

2. 「iJUMP」(時事通信社インターネット行財政情報モニター) への連載

2011年7月より、時事通信社が配信している「iJUMP (アイ・ジャンプ)」(インターネット行財政情報モニター) へ、連合参加首長のコラム等を掲載している。これまでに、以下9名のコラム、インタビューを掲載。

(敬称略・掲載順) ◆時事通信社 iJUMP <http://jamp.jiji.com/info/>

- ・多次 勝昭 (兵庫県朝来市長) 「地域に飛び出す公務員を応援＝首長連合発足に寄せて」
- ・荒木 義行 (熊本県合志市長) 「目指すは『ドラえもん』のような職員づくり」
- ・小坂 泰久 (千葉県酒々井町長) 「地域の相談に対応できる『総合職員』を育成」
- ・鈴木 英敬 (三重県知事) 「現場感覚磨き、地域に果実を」
- ・白石 勝也 (愛媛県松前町長) 「公務員も現場主義を強調」
- ・中村 時広 (愛媛県知事) 「職員はどんどん現場に」
- ・鈴木 俊美 (栃木県栃木市長) 「強く、やさしく、頼れるまちづくり」
- ・井原 巧 (愛媛県四国中央市長) 「公務員と地域住民のつながりが地域の力」
- ・安田 公寛 (熊本県天草市長) 「職員は地域のけん引役に」

3. 各自治体の応援施策調査(アンケート)の実施

連合参加首長に対して、各自治体における職員の地域活動等への応援施策に関するアンケート調査を実施している。

- ・2011年度 31自治体より回答。結果を第1回サミットにおいて報告。
- ・2012年度 47自治体より回答。結果を第2回サミットにおいて報告。
- ・2013年度 50自治体より回答。結果を第3回サミットにおいて報告。
- ・2014年度 過去3年間の応援施策調査を踏まえ、さらに内容を深く掘り下げて、15の施策を調査。結果を第4回サミットにおいて報告。
- ・2015年度 「ボランティア休暇等」をテーマに調査を実施し、48自治体より回答。結果を第5回サミットにおいて報告。
- ・2016年度 「地域に飛び出す活動への評価と人事異動への反映」をテーマに調査を実施し、60自治体より回答。結果を第6回サミットにおいて報告。
- ・2017年度 「公務員の公共性のある組織での副業」をテーマに調査を実施し、47自治体より回答。結果を第7回サミットにおいて報告。
- ・2018年度 「公務員の副業」をテーマに調査を実施し、46自治体より回答。結果を第8回サミットにおいて報告。
- ・2019年度 「公務員の副業ガイドラインの活用」をテーマに調査を実施し、45自治体より回答。結果を第9回サミットにおいて報告。

4. サミットの開催

連合参加首長が一堂に会して話し合い、交流する場としてサミットを開催している。

- ・第1回サミット：2012年 1月28日（愛媛県松山市） 首長12名、他約100名参加
- ・第2回サミット：2013年 1月26日（福島県伊達市） 首長11名、他約100名参加
- ・第3回サミット：2014年 1月25日（千葉県山武市） 首長9名、他約300名参加
- ・第4回サミット：2014年11月29日（兵庫県朝来市） 首長14名、他約160名参加
- ・第5回サミット：2015年11月22日（滋賀県湖南市） 首長10名、他約100名参加
- ・第6回サミット：2016年 1月28日（千葉県酒々井町） 首長19名、他約140名参加
- ・第7回サミット：2017年11月25日（北海道東神楽町） 首長10名、他約120名参加
- ・第8回サミット：2018年11月17日（岐阜県飛騨市） 首長10名、他約100名参加

【事務局】 全国の自治体職員有志24名で運営 事務局長：高野吉雄（三重県）

（50音順） ■連絡先：tobidasukk-staff@googlegroups.com

市川 雄大（三重県） / 伊藤 洋平（元東京都多摩市） / 今村 陽子（福岡県）

岩谷 圭（鳥取県） / 岩永 幸三（佐賀県） / 大橋 志帆（群馬県太田市）

岡野 義広（千葉県酒々井町） / 梶谷 彰男（鳥取県） / 川津 裕一（滋賀県栗東市）

小泉 義隆（北海道東神楽町） / 後藤 好邦（山形県山形市） / 坂田 啓子（佐賀県小城市）

茂田 幸嗣（広島県） / 須山 広周（愛媛県） / 胎中 謙吾（奈良県奈良市）

立田 正雄（三重県） / 津崎 龍也（熊本県天草市） / 寺島 直樹（岡山県岡山市）

永淵 恵子（長崎県） / 西崎 隼人（三重県） / 福美 江津子（兵庫県川西市）

幕田 典昭（福島県伊達市） / 村島 弘恭（三重県）

「地域に飛び出す公務員を応援する首長連合」のお約束

（その1 呼び方）

この会は、「地域に飛び出す公務員を応援する首長連合」（以下「首長連合」という。）と呼びます。

（その2 設立の思い）

首長連合は、公務とは別にプラスワンで、一住民として役所を飛び出して地域でのさまざまな活動を行う公務員（以下「飛び出す公務員」という。）を応援するために設立しました。住民との協働（又は新しい公共）の実現を目指して。

飛び出す公務員として活動をしていると、時として（又はしばしば）なんとなく居づらい思いをしたりして、自分はおかしなことをしてるんじゃないだろうか、と思うことがあります。そういうときに職場に理解ある上司がいてくればとても大きな支えになります。それが自分の任命権者である知事や市町村長であればなお力強いものがあると思います。こんな私でもお役にたてるのであればその飛び出す公務員を応援しよう、という首長は、ある意味めずらしいのかもしれませんが。飛び出す公務員は正しい！そしてその人たちを応援しようという自分たちはもっと正しい、と信じる首長が集まってそれぞれの地域で行動しよう、というのが首長連合設立の思いです。

（その3 加入の条件）

次の3箇条を地元住民に約束し、事務局に「首長連合に参加する」旨の意志を伝えます。

- （1）設立の思いにこころから共鳴すること
- （2）首長連合の活動を積極的且つ継続的に情報発信すること
- （3）飛び出す公務員に対して、具体的かつ適切な応援施策を実施すること

（その4 活動の原則）

首長連合はゆるやかなネットワークです。それぞれの首長の責任において、それぞれの地域でその3の加入条件に掲げる活動を行います。

ただし、時々首長連合として一緒に行動します。何か言いたい場合はどうか代表のところどうぞ。ただし、こうしたゆるいネットワークの常として代表がなほどのものであるわけではなく、だからといって、事務局が絶大な支配権を及ぼしているわけでもないことはどうか御了解ください。

ということは、たいていの場合、それぞれの首長の責任と判断において自分で考え自分で行動する、ということになります。意外に大切な原則です。

(その5 代表)

とはいえ、組織ですので首長連合に代表を置くことにし、初代代表は古川康佐賀県知事とします。後任はその都度決めます。(2代目：平井伸治鳥取県知事 3代目：鈴木英敬三重県知事)

(その6 事務局)

代表は首長ですが首長というのは自分だけではいろんなことができません。そこでお世話をする事務局を置くことにします。その中に1名事務局長をおき、代表が選びます。

事務局長だけでは頼りないので全国の熱い職員にも事務局員をお願いすることになっています。自分とこのboss以外と仕事するのはけっこう新鮮だったりします。あまり気を遣わずにすみませし。

(その7 共鳴)

首長を引退したとき、選挙で不如意な結果に終わったときは、首長連合から脱退します。

ただし、それぞれが生涯にわたって飛び出す公務員を応援することになります。これは仕事ではなく、生き方への共鳴だから、です。

(付 則)

このお約束にないことや疑義がでてきたときは、「ゆるく」「その都度」「適切に」の三つのキーワードに沿って解決を図ります。